

Structure Kansai No.40 '94.1

1994 新春



平成5年11月撮影
関西国際空港株式会社 提供

構造士資格認定制度と技術者としての自覚



久徳敏治

昨年から実施されている構造士資格認定制度による構造士の誕生には行政・業界各界がいたく注目を引いています。選別された技術者としての構造士はその旨とする責務に責任をもち、各界や社会からきびしい非難や期待に反する批評を受けないように絶えず自身を律する責任が発生しました。これはとりもなおさず技術者各人の技術に対する日頃の研鑽であり、モラルの引締めによるところが大きいと考えられます。人だれとも充実した楽園の現実化を夢見、生きがいを実感するためにも、与えられた責務を全うしてこそ実現するものと考えられます。その意味から、本人にとっても、協会に至ることでこの制度が始動はじめました。今年は一層の瘤を自身に課せる厳しい年の始まりとなります。こと一技術者としてだけでなく、業界・社会に真に貢献できる技術者としての自覚の上に、最終的には建物そのものに責任を持つほどの気概をもってこの一年のご活躍を祈ります。



新春に思う

青柳 司

一年前はバブルがハヂケタくらいに軽く考えていましたが、どうも大不況になったように感じます。私個人はセセラセセラの性格だからよいが、社会人としては価値観を変えて対処しないといけないと思っているが、今のところ何もきめていない。

日本建築構造技術者協会としては、構造士の発足と規約の改定が予定されています。特に構造士はどのように社会的なものに育てて行くかが重要である。まずは地域に根ざした活動として行政との対話ぐらいの出発となるのだろうか。

去年の初め今年は支部の活動に積極的に参加するつもりと申し上げたが、残念ながら分科会を含め4回しか出席できなかった。本部として運営会議・技術委員会・J S C A 賞委員会・構造士関連等で約30日参加したが、本部のスケジュールを優先したため支部がおろそかになってしまった。今年はもう少し支部の方へ考慮したスケジュールで活動したいと思っています。きびしい世の中になってしまったが、お互い元気を出して頑張りましょう。

-1-

迎 春



能勢善樹

八方塞がりの景況の中で不安な年を迎え、国も企業も個人も一段のリストラを必要としています。この事は単に一国の政治運営の失敗に帰せるものではなく、急激な社会情勢の変化の背景に因を求めなくては理解できないと思えます。その中で、昨年7月の建研発行の広報誌エピストラに特集掲載された「構造設計の今後の方向」は注目すべき一文でした。それは「いまや新しい時代の構造設計のパラダイムを提示することが、極めて重要な課題になっている」との認識のもとに「従来のカタログから数値や計算法を選ぶやり方から、本来的に建築物に要求される性能を定め、その性能が満足されるならば設計法などは大幅に設計者の自由に任せる方向に移行すべき」というのです。新耐震設計を作るのに建研が果した役割を考える時、この変化は大いに注目すべきである。なんと、J S C A の主張に近い事でしょうか。勿論、ここに至るには容易に整理されそうにない課題ばかりですが、検討が始まっているのは新しい希望をいだかせます。我々の分野にも世纪末の胎動が始まっていると思えるのです。

建築構造士の認定試験 報告

「建築構造士」について

当協会では、現在「建築構造士」の自主認定作業が進められています。これは「協会が建築の構造設計および構造監理業務に対する高度な技量と資質を有する構造設計者に建築構造士の資格を与え、実務を通じて社会に貢献する……中略…もって社会にその職分を明らかにすること」（当協会建築構造士資格認定制度に関する規則第1条）を目的としています。つまり協会として構造設計者をきちんと認定しようと云う訳です。その数は我国の構造設計をリード出来る最低の数として、およそ3000人位であろうと予測されています。

具体的には1級建築士取得後、構造設計および構造管理業務の実務経験が4年以上の人で認定試験（筆記による1次試験、面接による2次試験）に合格すれば建築構造士となります。但し経過措置として1993年より3年に限り特別研修受講と小論文作成および面接試験により認定する事になっています。資格は1級建築士取得後実務経験8年以上かつ実務経験の内指導的役割3年以上で1993年3月迄に当協会に入会を承認された人が対象となります。運用としては対象数が多いので8回程度に分けて実施しています。

現在第I、第IIグループが終了し各々約400名（対象者の約70%）が受けている

ます。特別研修会および面接試験は東京と大阪で実施されており、各々東京以東と名古屋以西の受験者をカバーしています。

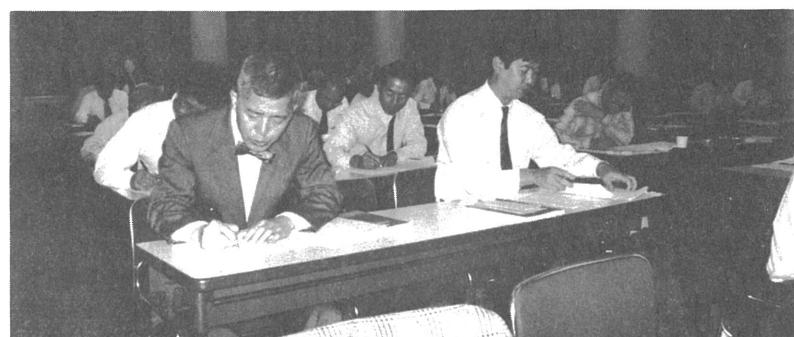
大阪では昨年の10月30日（土）に第Iグループの特別研修会が国民会館で、12月11日（土）に第IIグループの特別研修会が大阪証券会館にて10時30分より17時30迄開催され各々150名余りが受講しました。そのメニューは①当制度の概要、②構造設計規範を中心として構造設計の在り方（J S C A長老のお話）、③建築家の立場からの構造設計者との関わり方（主にJ I Aの方）、④技術テーマ（先端的な内容で東京会場はランドマークタワーの構造、大阪会場は関西新空港ターミナルビルの構造設計の紹介）、⑤最後に小論文作成です。テーマは②～④の内容を受けて設定されています。作成時間

は1時間とやゝ短く、皆さん大変の様でした。研修会中は原則として缶詰めで昼食も用意されています。終了後は少々お疲れで「アーシンド！」と云う声があちらこちらで聞かれました。

面接試験では各支部（大阪、広島、高松、福岡）で行なわれます。1人20分程度で、受験申込みの折に記入した実務経歴および主な作品をベースに構造設計に対する姿勢や取巻く社会への貢献等について口頭形式で行なわれています。自分の考えをアピールする良い機会なので皆さん大いに頑張っておられる様です。

今後第IIIグループ以降の特別研修会が5月、9月と実施されます。これらに該当する会員の皆様は是非積極的に挑戦されて、将来ともに実のある「建築構造士」を造って行こうではありませんか。

（侯野）



事務局からのお知らせ

●支部の動き

- ・9/16 コンピュータ分科会
- ・11/4 J S C A 京都会講演会
於京大会館
テーマ「最近の鉄骨構造に関連して」
—ファブリケータと構造設計の
かかわり—
—鉄骨構造を用いた建築の再生
—
- ・11/6 J S C A 京都会現場見学会
京都岡崎公園地下駐車場
- ・11/13 眠碁同好会 於爛柯 13名

- ・11/16 ゴルフ同好会 於伏尾G C
36名
- ・11/12 鉄骨分科会
「キーエンス新大阪ビル」見
学会
- ・11/17 コンピュータ分科会
- ・12/14 関連11団体合同忘年会 於太
閑園
- ・1/4 関連12団体新年交礼会 於大
阪コクサイホテル
- ・1/10 海外研修会企画会議
- ・1/12 広報委員会
- ・1/17 支部役員会

- ・1/19 コンピュータ分科会
- ・2/1 耐震設計分科会
- ・2/8 構造計画分科会
- ・2/16 J S C A賞選考委員会
- ・2/23 コンピュータ分科会、関西新
空港ターミナルビル見学会

●事務局のお知らせ

平成6年度の支部総会を来る5月25日（水）午後1時より開催する予定です。1年に1度の総会ですので万障お繋り合わせの上、出席を予定して下さい。

見学記

関西国際空港旅客ターミナルビル

平成5年10月13日
(水)、秋晴れのおだ
やかな午後、関西新空
港ターミナルビルの見
学会に参加した。



北野構造設計 北野茂樹
空港ターミナルの概略の説明を受けた後、2班にわかれて舟乗場へと向った。舟乗場へ着くと左手南側には先に出来上っている連絡橋がはるか海の沖に向って、うっすらと平べったくみえる空港島までつづ

いている。我々は、連絡橋にそって少し
あれた海の波にゆられながら空港島へと
上陸した。舟着場のまわりはまだ未舗装
のところが多く、あれた海の波にゆられ
ながら空港島へと上陸した。舟着場のま
わりはまだ未舗装のところが多く、あれ
たままの状態である。そこからバスに乗
り、目的地であるターミナル棟へと向つ
た。

ターミナルビルの構成は本館を中心、
北と南ウイングがあり、全長約1700m、
奥行約150m、地上4階、地下1階の鉄
骨造である。そして100m～200m間隔で
エキスパンションジョイントが設けられ
ている。このぐらいの規模の建物になる
とエキスパンションジョイントのクリア
ランスも通常では水平方向に90cmぐらい
必要になるらしいが、粘性ストッパーを
採用することによってこの間隔は1/2以下で
納めているということである。

北工区の本館棟の地下にはいってまず
目についたのは柱脚部である。柱という
柱すべての柱脚には通常の構造ではあ
まり目にしたことのないものが取り付いて

いる。また欠込みのあるベースプレート、
上に長く伸びているアンカーボルト等、
それらは説明によればジャッキアップする
ための構造となっているためである。

許容量の沈下(20mm～30mm)がおこる
たびに、柱脚部のアンカーボルトを緩め
て、300tのジャッキを2台または4台を
使って持ち上げベースプレートと敷プレ
ートの間に挿入しているフィラープレー
トの枚数を加減することにより柱脚レベ
ルの調整を行なう。沈下に対する配慮は
柱だけではなく、間仕切壁との間、ドア
と間仕切壁とのとり合い、床と階段との
間、それに設備機械の架台、パイプ等に
いたるまで、あらゆる所に沈下対策の処
置が施されている。ということはこの建
物は沈下という問題に対してあらゆる方
面にわたって対処することによって出来
上がった建物ではないだろうか。沈下な
くしては考えられない建物であろうし、
これからも沈下とつきあいながら維持し
ていかなければならない建物であろう。

駐機場エプロンからながめたターミナ
ルビルはとにかく長い。端から端まで目

でおいかけても端部はかすんでみえるぐ
らい長い建物である。今立っているエブ
ロンからは今年の秋には1番機が飛び立
ちターミナルビルは人々であふれかえり、
現在まだ工事中の灰色の世界からいっぺ
んに、はなやいだ色あいの世界へと変つ
ていくだろう。そしていつしか沈下だけ
は今後もまだまだ続いているということに
だれもが気がつかなくなるのではないだ
ろうか。



キーエンス新大阪ビル



今回の見学会での私の
目的の一つは、意匠・構
造・設備の一体化がど
う様に計られているかを確
認し、今後の設計に役立
つ内容を見つけ出す事であった。

以前より雑誌で紹介され分かっていた
事は、プロジェクト全体の課題を意匠・
構造・設備が、一体として設計され、又
施工の合理化にも配慮されているとい
う事である。色々興味深い点があるが、例
えば

○明るいオフィス空間の提供

◎1. 外コア方式の平面計画。

2. 片持ち方式のマリオン。

3. ガラスの突き合わせJOINT。

◎1. ペアコラムとして柱を集約。

2. コーナーに柱を立てずに辺の中
央に配置。

○快適環境と省エネルギーの提案

◎1. 複層ガラスのカーテンウォール
による熱負荷の軽減。

2. 天井材・カウンターを空調の幅
射パネルとして使用。

3. 低層部でのビル風対策と外部に
開かれたオープンスペース。

◎1. 天井からの輻射冷房。

2. ペリカウンターからの輻射暖房。
3. 各ゾーン毎の環境に応じた空間
の自動制御(PMV値によるイン
バーター制御)

- ◎1. ペアコラム内を空調機械室とし
て
2. ペアガーダー内を空調用サプラ
イチャンバーとして利用。
 3. 高さ約18mの大吹抜空間。
→高性能60キロ鋼の使用。

等々である。



見学で強く印象に残った事は、

1. 構造部材の数が少なくシンプルにま
とめられている。
2. 空調ダクトが少なく、天井内がすっ
きりしている。
3. 室のコーナーに立つと広い眺望が得
られ普通の展望塔より眺めが良い。
4. 7mのはね出し床の振動も気になら

(株)類設計室 向 芳孝

なかった。

5. 1階の大吹抜空間はスケールが大き
く感覚的にはやや不安な感じがした。
(柱をもっと太くした方が良かった)

6. 特に構造と設備の一体化が計られて
いると思われた。……である。

もし私がこの物件の担当になったとし
ても、この様な構造計画は出来ないだろ
う。何が不足しているのか考えてみると、
建築全般にわたる知識(デザイン・平面
計画・設備計画・施工計画)と全体課題
を深く追求する力だと思う。

今後ますます設計は、細分化し専門化
して行く。しかし専門分化した各部門の
技術は独立したものではなく、より統合
されなければならない。一般に統合者は、
営業担当者又はディレクターであるが、
専門技術者が各分野での責任と同時に他
部門との有機的な統一(=統合)に対す
る自覚と知識がなければ統合は成功しな
い。この様な意味においてもこの建築は、
今後の私の設計に大いに参考になったと
思う。今回は工事中の見学であったが、
竣工後快適な環境が実現できているか、
夏と冬に再度見学してみたいと思ってい
る。

新シリーズ 会員雑感



「構造設計のヘテロな
時代の始まり」
株安井建築設計事務所
松尾雅夫

超保守的と言われる政界にも「Rリーグ」が発足したそうである。通常何々研究会となるところを、戦後生まれのおじさん議員が日本を再構築しようと、リストラ・ルネサンス・リボルーションの頭文字をとて「Rリーグ」としたらしい。

現代は“Heterogeneous”（異種の、異質の、異なった要素からなる）の時代である。それぞれの領域で絶対的な権威の下に秩序づけられていた時代から、権威が相対化し、価値観が多様化した可能性の時代となっている。

構造設計分野でも、免振・制震といった制御技術、FR鋼・超流動コンクリートなど異分野との連携が必要な技術が増えてきている。まさに「ヘテロ」な時代の幕開けである。構造設計者にも、既存の領域にとらわれない自由な発想が求められる。J S C Aに構造設計技術の再構築を考える「Rリーグ」をキックオフさせてはどうだろうか。



一工業化工法
について一言一

大成建設株
渡辺 勘

P C・プレファブ分科会には当初から参加している。昭和50年頃に発刊された「プレストレストコンクリート造の設計と詳細」という実例を写真とペースで紹介した本が、私にP C工法や工業化工法に興味を持たせたきっかけの一つとなった。今でも本棚から取り出して眺めてみても、新鮮さを感じる本である。その後、多くのP C構造やP C a部材を使った工業化の建物を設計してきた。つい最近迄、型枠大工や鉄筋工が不足していると言わされて、工業化工法に期待が寄せられてきた。しかし、ここに来て「職人が余っているから、在来工法が安いんだよ」と再びコスト面だけで、在来工法を主張する人が増えてきた。折角、色々な工構法を開発し、システムまで確立してきたのに後戻りをするのは残念である。大袈裟だが工業化工法の推進は「建設業の近代化」である。現場で見掛けるラッパズボンの若者は妙にカッコ良い。



J S C A入会のキッカケ

N T T関西建物株
上仲茂生

約10年前に構造家懇談会へ入会のお誘いを失礼し、5年前に再度お勧めをいただいたのを機会に入会しました。勤務先が電電公社からN T Tへと民営化されて間のない頃で、企業の経営方針が大きく変化した時期に当たります。N T Tは民営化後、経営強化を図るために土地活用の小会社を設立し、電気通信用建物以外の賃貸ビル等を建設しビル経営を行なうことになりました。入会の動機へもこれが若干影響しました。協会の設立主旨への賛同は言うに及びませんが、私の過去の設計は大半が特殊建築の電話局でした。これにドップリ浸かって、建築の構造設計に対する考え方や設計感が知らず知らずの間に偏っていないかを確認したいこと、外部の新鮮空気を吸込む必要を感じる「物でないモノ」から、より幅広く奥深い豊かな設計感等が培われる信じ構造計画部会でお世話になっています。



工業化工法に思う

フドウ建研株大阪支店
上崎行生

一般的の構造屋にとって、P C造、P S造と言う工業化工法は、特殊な工法であり、最初から、敬遠するようなところがあります。又、実際にP C化を検討する場合、在来工法と、コスト比較すると、高くて使えないと言うことをよく聞きます。ほんとうにそういうのでしょうか。

P C、P S造共、R C造に比べて違う点は、柱・梁・壁の部材を組立て、一体化する為のジョイントがあり、又、部材にプレストレストを与えることにより、有効にコンクリートを使うことです。

コストについては、軸体のみのコスト比較をすると、P Cが高くなる傾向がありますが、工期、仮設、仕上げ、残材処分等、全体で考えると、そこそこの比較になるのではないかでしょうか。

将来的な労働者不足、高齢化、職人の技能低下等、工業化への途を進む傾向にあると思います。皆さん、敬遠せずにP C、P S造に親しんで下さい。



構造設計感について

株キンキ総合設計
西 邦弘

バブルの崩壊後、建築業では再びよりよい設計者が要求されている。構造技術者は法令面で一級建築士としての知識以上に専門的な技術が要求されている事は当然であるが、設計に取り組む場合、建築設計者のみの意向でなく施主の意向も重視が必要と思う。それ故に構造設計の範囲が初期計画から竣工検査までの広範囲に渡る責任がある。第2に構造技術者は構造側の課題として、施工面での実状の把握をしながら建材の寿命を含め建物の寿命を考えて設計荷重及び材料仕様を決めると共に構造種別の特性を生かした健康的で安定した構造物の工夫が要求される。第3に海外の様に高強度材料としてコンクリートや鉄筋の利用を考える必要もあり、免震構造の導入で長期設計型の小さな架構断面による設計等々も時には必要になる。私は、これらを深く感じながら社会に貢献できる構造技術者を目指し日々切磋琢磨していくたく思います。



構造雑感

株大林組
深野 廉

素敵な女性とフランス料理の後はクラシックの演奏会。とても実現出来そうにない夢とあきらめ、一つの音楽形態としてCDに録音された演奏だけを一人楽しむ構造屋にとって、構造設計とはオーケストラの中でコントラバスかチェロ、場合によっては打楽器か、せいぜいトロンボーン（ホルンなら上出来）の演奏を受け持つもので、華やかさはないが音楽全体を支える重要なパートであると考えたい。新耐震設計法が始まつて、多少構造屋の言い分が通りやすくなつた?のと期を一にして、1980年頃からDDによるデジタル録音が急速に進歩して、各パートの音が鮮明に録音され始めた。そのため、今まであまり目立たなかつたパートも明瞭に聞こえるようになったのは合奏重視型の演奏家にとって大変なことであろう。時代の流れとして、演奏家（構造屋?）の実力が浮き彫りにされつつあるのは喜ぶべきか悲しむべきか。



過ぎし日々

卓建築事務所
前田卓実

私は構造設計を始めてから26年になります。当時は計算尺とそろばん又は暗算でした。壁は⑦120で9φ@300シルグル、柱梁の剪断補強は先ず9φ@250～300で済んでいました。余談ですが学生の頃は意匠設計希望でしたが当時入った事務所でたまたま計算屋に欠員が有り、又純真で正直だったものですから一時的な条件で手を染めたのがそもそもの始まりです。

又事務所を開設して21年が過ぎようとしています。初めの内は意匠も含めて活躍？して居ましたが経験の不足で気力と努力だけでは色々しんどい面もあり、不景気、安い設計料ありで、勢い手慣れた構造で数をこなすという形になりこの手法は現在でも脈々と生き続けております。今では夥しい数の鉄筋になり鉄筋造の感すらあります。この変化の中に時代、文化、経済、又コンクリートのこと、そして我事務所の経営のことなど色々感じさせられます。



鴻池組
長井国雄

構造設計にコンピュータが使用されて20数年になった。当初は大型機に群がって使用していたが、現在では机の上で同等の計算ができるようになっている。

このため、ほぼ100%の構造設計にコンピュータが使用され、手計算で力の伝達機構を考えながら計算を進めてきたことがなつかしくさえ思われる。

設計作業が「美化」され、「合理化」されたことは、今日の環境にマッチしてきたとはい、大きな落し穴もそこに含まれていることを常に我々は意識していかなければならない。多くのデータを複雑にからめて設計をすることは一見精度向上に寄与するように思える。又、学会等の基規準もコンピュータ使用を前提として作成されているようだ。それだけに、我々はコンピュータ使用に当たって、ブラックボックスとして相手まかせにするのではなく、プログラムをシステムと考え、各機能を充分熟知したいものである。



日本シンエイ㈱
寺戸芳久

某社の露出形固定用柱脚は角管で1200角、適用板厚40ミリというとてつもないものがあります。実験で性能は裏づけられているそうです。場所打コンクリート杭では4mφのものもあります。底ザラエが不充分となることはないでしょうか。アンボンドP C床版の定着体の信頼性はどこまで期待できるのでしょうか。途中で切断したときの対策はどうなっているのでしょうか。道具と技術さえあれば何でもできるのでしょうか。大阪ではニュートラムがとまりました。高層ビルは本格的な地震の洗礼を受けいません。「実験で確認した」「優れた技術で解決した」ということで納得してよいのでしょうか。何かが足りないように思えます。いま少し目を凝らして、よく見てみようと考えています。そういううちに別の世界が見えてくるように思います。それからユックリ箸をとるというはどうでしょうか。

会員雑感



鶴日建設計
大和田精一

建築の構造設計に携つて20余年になる。この間で印象に残ったことは、『1981年の新耐震設計法の施行』である。若干、数值を細く決めすぎている所もあるが、我国の耐震設計のボトムアップに繋がったという評価もできる。その中でルーチン計算の煩雑さから『一貫設計プログラム』が多く開発されたが、その使用方法によってはいつの間にか構造計算屋オソリーに埋没してしまうかもしれない。要注意だ。

また、1989年構造家懇談会から日本構造技術者協会（JSCA）となり、団体として本格的に活動を始めた。周知のとおり構造を無視して建築をつくる事は不可能である。構造技術者は建築デザイナーと共に社会のニーズに応じた諸機能を有し、美しく優れた空間と造形美をもつ建物を世に送り出す責任がある。それ故、常に豊富な技術力とバランス感覚を身に付けておくことが不可欠である。J S C Aの活動を見聞し、良い刺激が得られている。



雑 話

日本総合研究所
高橋俊二

「私、最近建築基準法の存在を非常に恨めしく思っています。いや建築技術者にとってもマイナス面が多いのではないかとさえ思っています。」のけつから彼は初対面の私にこう言った。場所は某保険会社の応接室。彼の話はこうである。

保険会社には、人、物、金に関するありとあらゆるトラブルの調査分析資料が集積されている。建物に関するものも沢山ある。工学的見地からもこれらデータは貴重なものであると信じる。しかし、クライアントはまだしも、建築技術者はこれらのデータにほとんど関心を示さない。他の工学分野では考えられない事である。理由を追求してゆくと、そこに「建築基準法」がある、というのである。

世の中リストラ、リエンジニアリングと激しく変化する中、建築技術者もまた視点をかえる必要をせまられる年となるだろう。よき一年でありますように。



構造の装飾性

竹中工務店
奥本英史

近代建築は装飾性を排除することより出発したが、その行き詰まりから多様な装飾性を復活させつつある。この流れは仕上げに覆われた骨組の設計を受け持っていた構造設計者に新たな能力の發揮を求める。さらに木造集成材や耐火鋼の開発による耐火被覆からの解放に象徴されるように、構造設計者が新たな発想で構造フレームを追求できるような環境になってきている。

この分野での先進国であるヨーロッパでは、社会的な生産システムの充実もあって、装飾性に富んだ構造ディテールをもつ建築が数多く残されており、マイヤー＝アルあるいはカラトラヴァのような力学と美を結合した構造家も数多く輩出されている。

限られた能力のもとではあるがQ C D S EのうちD（デザイン）の分野に対しても、構造設計者として積極的な発言を行っていきたいものと考えている。

会員紹介

吳田 孝一



(勤) 学校法人福田学園 大

阪工業技術専門学校教員

(趣) 航空、飛行機ファン

構造事務所に約8年勤務し退職後、母校の教員になって早3年この時期は卒業設計の最終段階で私のグループの学生30名と日々構造について火花を散らしている毎日です。ひとりでも多くの学生に構造のおもしろさを伝えたい、又好きになってほしいと思う今日このごろです。

長井 栄治



(勤) 株式会社大日本建設大阪事務所

(趣) 囲碁、ゴルフ

設計図と構造計算書に埋

まりながら、毎日、毎日、コンピューターの画面とにらめっこしながら暮らしています。仕事の期限はいつも容赦なく迫ってくるのですが、そんな中で、少しでも余裕のある生活を送りたいと思っています。

小松原 操



(勤) ㈲小松原建築構造事務所

(趣) ゴルフ、囲碁

構造設計にたずさわって

20年、同じ頃に始めたゴルフもキャリヤだけは15年、今だに両方のむずかしさを痛感しています。ゴルフでは“基礎を忠実に守り練習を重ね” 仕事でも昨今のはげしい情勢の変化に目をおき “常に誠実と、忠実をモットーとしつつ柔軟性のある設計” を心がけているのですが、どちらもまだまだ。いつの日か思った所にボールが打てる様に、納得のいく仕事が出来る様に、努力を重ねて行きたいと思っております。

第8回囲碁同好会

平成5年11月13日（土）

於 囲碁サロン「爛柯」

“株)クボタ7連覇成らず”

㈱クボタ7連覇をかけて（過去の優勝は山下7段3回、五藤7段3回）の第8回は対局前、五藤7段に「今回はもうそろそろ他の人にゆずってもらえるのでは」とお願いした甲斐があったかどうか。

㈱平田建築構造研究所の八木2段がそのプレッシャーをはねのけ見事に初優勝の運びとなりました。八木2段の健闘に拍手を送ります。 山田 裕治

柿丸 司



(勤) F建築構造研究室

(趣) ゴルフ、囲碁

久しく構造設計を続けていますが、進歩と変化の中で、学ぶ事の多さに建築の幅広さを感じます。構造設計の重要性を理解して貰う為、地域の行政者、意匠家、施工者を集めワンポイント講習を最近行いました。レベル向上の為に内容を少しづつ抜けたいと考えています。

榎本 浩二



(勤) (有)青柳構造設計

(趣) ゴルフ、ラジコンヘリ

コピター

（これから買う予定）

コンピューターの発達によって益々複雑な解析が可能となりましたが、現場に行くと机の上との有効数字の差に気が付く、単純な設計が一番大事ではないかと感じさせられます。構造設計のむずかしさは片方の考え方だけでは割り切れない所にあると思います。

下山 政治



(勤) 戸田建設㈱大阪支店

建築設計室

(趣) 囲碁、ハイキング

大阪に転勤になって、そろそろ3年が過ぎようとして居ます。着任当初は、街に個性的な建物が多く驚きました。今は慣れましたが、又肥後橋に出来たビルを見て驚いています。先日某ホテルの交通振動を1/2にするため、TMDを設置、目標通りに行って、ほっとしています。

山本 正道



(勤) ㈱ワイエックス

(趣) 読書、旅行

J S C A模擬裁判「構造法規を裁く」を行ってきました。範囲が広すぎて焦点が絞れなかったのが残念です。是非、関西でも実務家を集めて規制緩和等について考える会をもってほしいものです。又社会に対して構造に把われずに、発信する方策を考えるべきだと思いますが……。

第20回 J S C A会記念大会成績表

平成5年11月16日（火）

於 伏尾G C

参加36名 ★印 初参加

氏名	南	西	G R O S	H D	N E T	R A N K
1 和田 効	45	46	91	25	66	優勝
2 岡田 英昭	44	39	83	16	67	2位
3 馬瀬 芳知	39	40	79	8	71	3位
4 奥村 三代治	42	37	79	8	71	4位
5 徳永 雄一郎	52	49	101	30	71	5位
6 ★寺田 徹	48	43	86	15	71	
7 谷尾 俊弘	52	45	97	23	74	7位
8 安田 光世	49	42	91	16	75	
9 渡辺 一博	54	45	99	22	77	
10 勝丸 文彦	51	53	104	26	78	
11 山田 裕治	51	52	103	25	78	11位
12 後藤 文吉	51	48	99	21	78	
13 梶木 信正	45	44	89	10	79	
14 竹ノ上 幸一	54	52	106	27	79	
15 青木 仁	46	46	92	12	80	
16 江西 修	46	49	95	15	76	16位
17 松浦 英一	53	60	113	33	80	
18 藤田 忠正	57	50	107	25	82	
19 山口 和成	47	51	98	16	82	
20 日下部 弘	53	45	98	16	82	20位
21 保野 博	55	54	109	27	82	
22 岡本 雅夫	53	55	108	26	82	
23 良田 正雄	54	55	109	26	83	
24 平見 殖	44	53	97	14	83	
25 西座 広昌	52	53	105	22	83	25位
26 丈野 萁三	49	54	103	18	85	
27 丸谷 正英	51	53	104	18	86	
28 須見 光二	53	51	104	18	86	
29 河本 純	63	53	116	30	86	
30 宮本 義博	51	47	98	11	87	30位
31 小松原 操	51	58	109	22	87	
32 丸岡 義臣	63	61	124	36	88	
33 中島 久	59	56	115	25	90	
34 三好 裕司	64	56	120	29	91	
35 宮野 賢三	59	54	113	20	93	
36 高橋 尚	63	58	121	25	96	

ニアピン：馬瀬 奥村 岡本(2) ドラゴン 谷尾 岡本 ベスグロ 馬瀬

次回ハンデ：和田17 岡田11 馬瀬7 平均ストローク 101.2

編集後記 遅くなりましたが、新年号をお届けします。今回は新シリーズ記事として、会員雑感を企画しました。年末年始のあわただしい折にもかかわらず寄稿いただき、編集担当として、感謝にたえません。会員紹介では、紙面の都合上、次号以降にさせていただいた方にはお詫びします。 花島・矢田貝 発行(社)日本建築構造技術者協会関西支部事務局 櫻竹中工務店 大阪本店設計部 担当 保野 博 TEL(06)538-5371-(5700) FAX(06)538-5445